

2022年2月期第2四半期 決算説明会



サインポスト株式会社

2021年10月19日

-
1. 2022年2月期第2四半期 決算概況
 2. 2022年2月期 業績見通し
 3. 事業方針

1. 2022年2月期第2四半期 決算ハイライト ～前年同四半期比～

(単位:百万円)

	2021年2月期 第2四半期	2022年2月期 第2四半期	前年同四半期比	概要
売上高	1,016	967	△4.8%	<ul style="list-style-type: none"> ・コンサルティング業務の範囲を保険業界に拡大 ・ワンダーレジの設置台数が増加 ・イノベーション事業の保有技術を活用したソリューションの開発を受託
コンサルティング事業	960	926	△3.6%	
ソリューション事業	54	33	△38.4%	
イノベーション事業	1	7	535.1%	
営業損益	△352	△263	—	<ul style="list-style-type: none"> ・研究開発費1億円を計上 前年同四半期に比べて1.5億円減少
経常損益	△361	△266	—	<ul style="list-style-type: none"> ・採用増による人件費、人材採用費が増加
四半期純損益	△335	△378	—	<ul style="list-style-type: none"> ・特別損失に減損損失を計上

1. 2022年2月期第2四半期 決算概況

2. 2022年2月期 業績見通し

3. 事業方針

2. 2022年2月期 業績見通し

(単位:百万円)

	2021年2月期 実績	2022年2月期 期初計画	2022年2月期 修正計画	2022年2月期		概要
				前期比	期初計画比	
売上高	2,037	2,170	2,050	0.6%	△5.5%	<ul style="list-style-type: none"> • 上半期の業績と下期の受注見通しを踏まて、通期業績見通しを修正 • イノベーション事業の前進を最優先に、経営資源を投下 • 期初計画に比べて売上高が減少 • EZレジ、ワンダーレジ-BOOKの販売を開始
コンサルティング事業	1,921	2,000	1,950	1.5%	△2.5%	
ソリューション事業	112	120	87	△22.5%	△27.5%	
イノベーション事業	3	50	13	265.6%	△74.0%	
営業損益	△596	△235	△460	—	—	
経常損益	△611	△238	△465	—	—	
当期純損益	△786	△258	△360	—	—	

1. 2022年2月期第2四半期 決算概況

2. 2022年2月期 業績見通し

3. 事業方針

事業方針



サインポスト株式会社

1. 理念・使命

2. 事業の全体像とフェーズ

3. 主な取り組み

(ご参考) 導入例紹介

1. 理念・使命

創業理念

孫の代まで、豊かな日本を創る一翼を担う

企業理念

ご満足いただけるソリューションを提供、社会の一隅を照らす存在でありたい

- ・社会に新たな価値を創出し続ける
- ・お客さまと社会に感謝される仕事を
- ・社員が仕事を通じて成長するのを支援し社員とその家族を幸せに

1. 理念・使命

■ 使命

～ お客さまの一員として、時代のその先に ～

私たちは、お客さまの経営・業務課題の解決に、
お客さまの一員として道しるべを示し、
発想・技術・実現方法に限界を設けることなく、
サービス・製品を想像し創造することで、
世の中を変え、時代を切り拓きます。
そして、私たちの取り組みにより、
お客さまをはじめ社会の人々の笑顔を増やし、
社会の発展に貢献します。

1. 理念・使命

2. 事業の全体像とフェーズ

3. 主な取り組み

(ご参考) 導入例紹介

2-1 種まきから収穫期へ

□ 未来に向けた積極投資のフェーズから、成長の実現と収益化のフェーズに移る

～2022年2月期(今年度)

2023年2月期(来年度)～

成長への種まき

収穫期

コンサルティング
事業

- ・ 人材育成の強化
- ・ 優秀な人材の確保
- ・ 保険業界への領域拡大
- ・ ソリューション提案力の強化

さらなる成長を
目指すための準備

- ・ コンサルティングサービスの品質向上
- ・ 新領域の顧客の深耕

豊富な実績と
強固な顧客基盤を活かした成長

ソリューション事業

- ・ 保有技術を活かした
製品・ソリューションの開発
- ・ オープンイノベーションの推進
- ・ 地方共創の取り組み

成長投資としての費用が増加

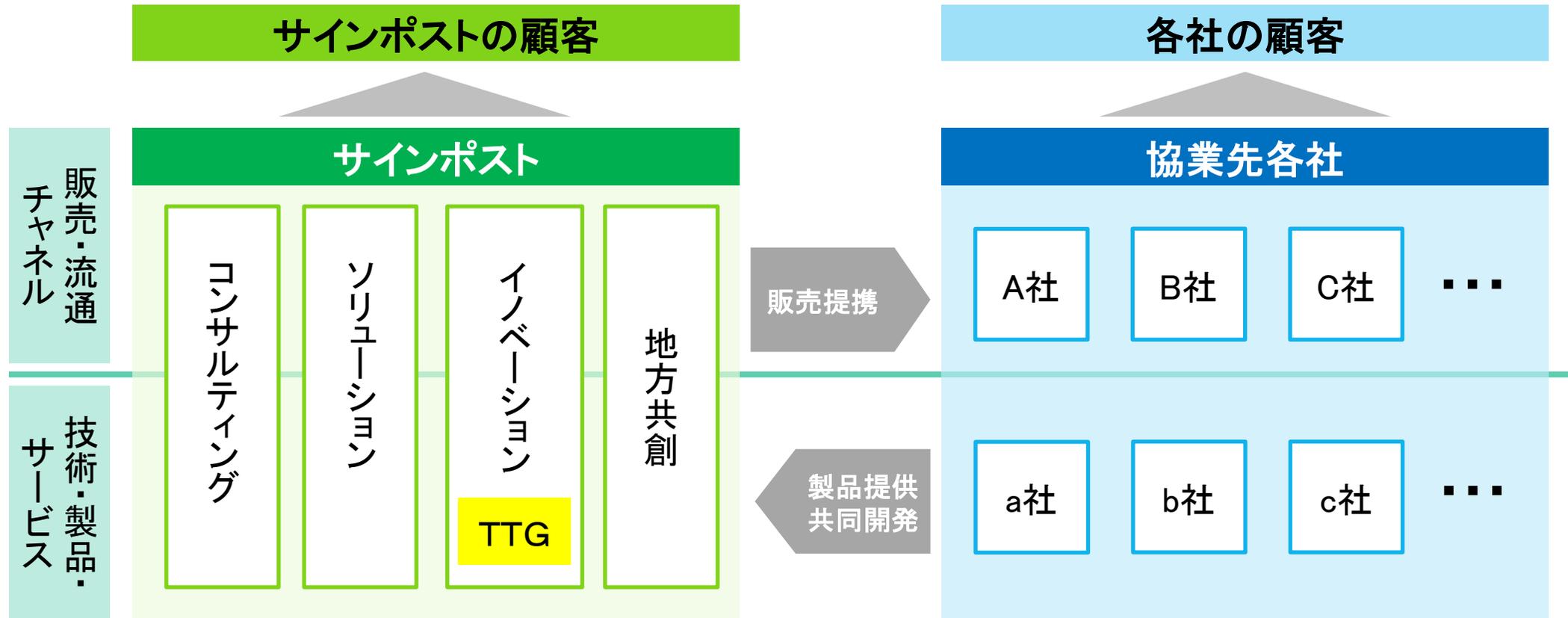
- ・ ワンダーレジ・シリーズ、EZレジの拡販
- ・ 保有技術とオープンイノベーションを活かした
製品・ソリューションの拡充
- ・ TTGの業容拡大

先行投資の収益化

2-2 事業の全体像

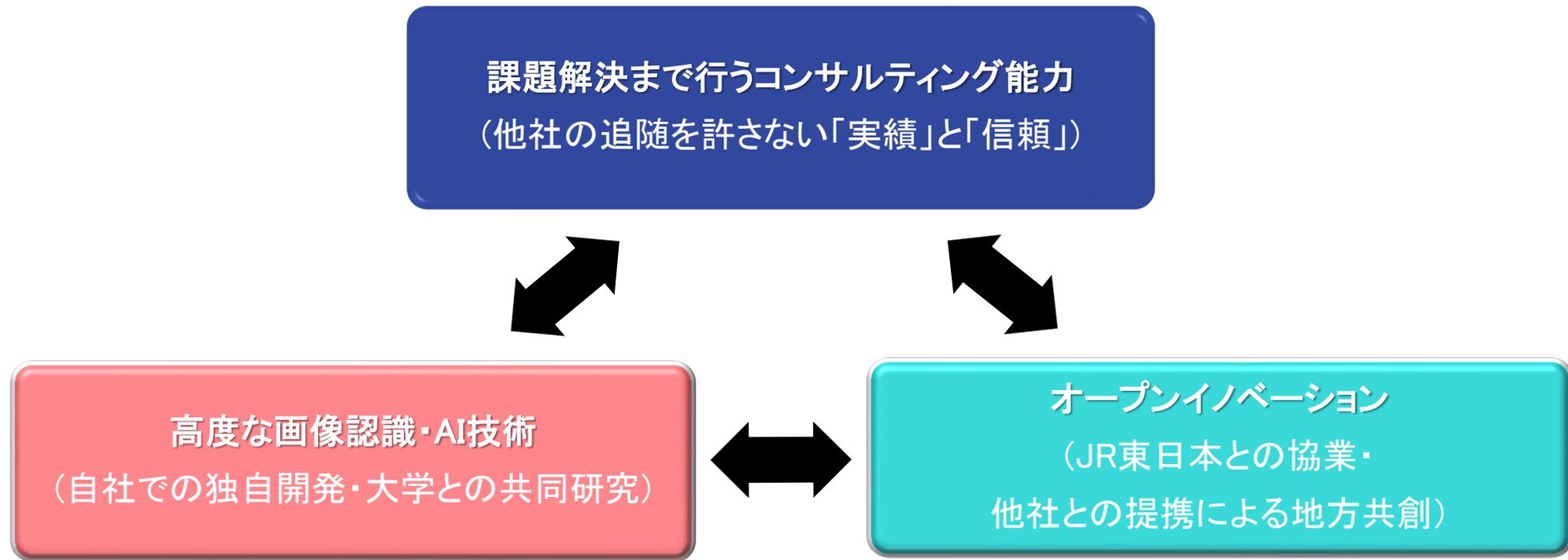
□ 取り組みの方針

- 事業開発、営業面においてオープンイノベーションを推進しスピードアップ
- 顧客軸、技術軸を活用した効率的な事業展開



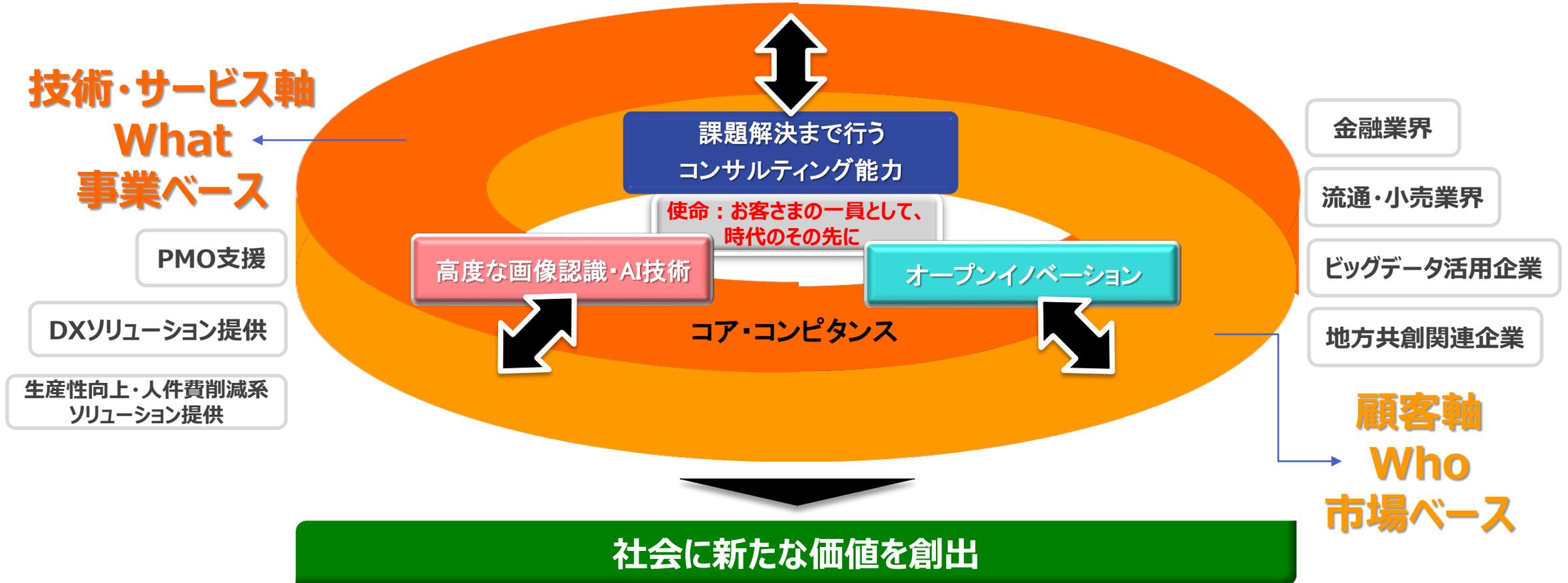
2-3(1) サインポストのコア・コンピタンス(企業の中核となる強み)

お客さまに合わせた3つのコア・コンピタンスを提供



2-3(2) サインポストのエコシステム(協業モデル) -SPメビウスリング-

表裏一体である「技術・サービス軸(What/事業)」と「顧客軸(Who/市場)」に、コア・コンピタンスを提供し続けることで、社会に新たな価値を創出



1. 理念・使命

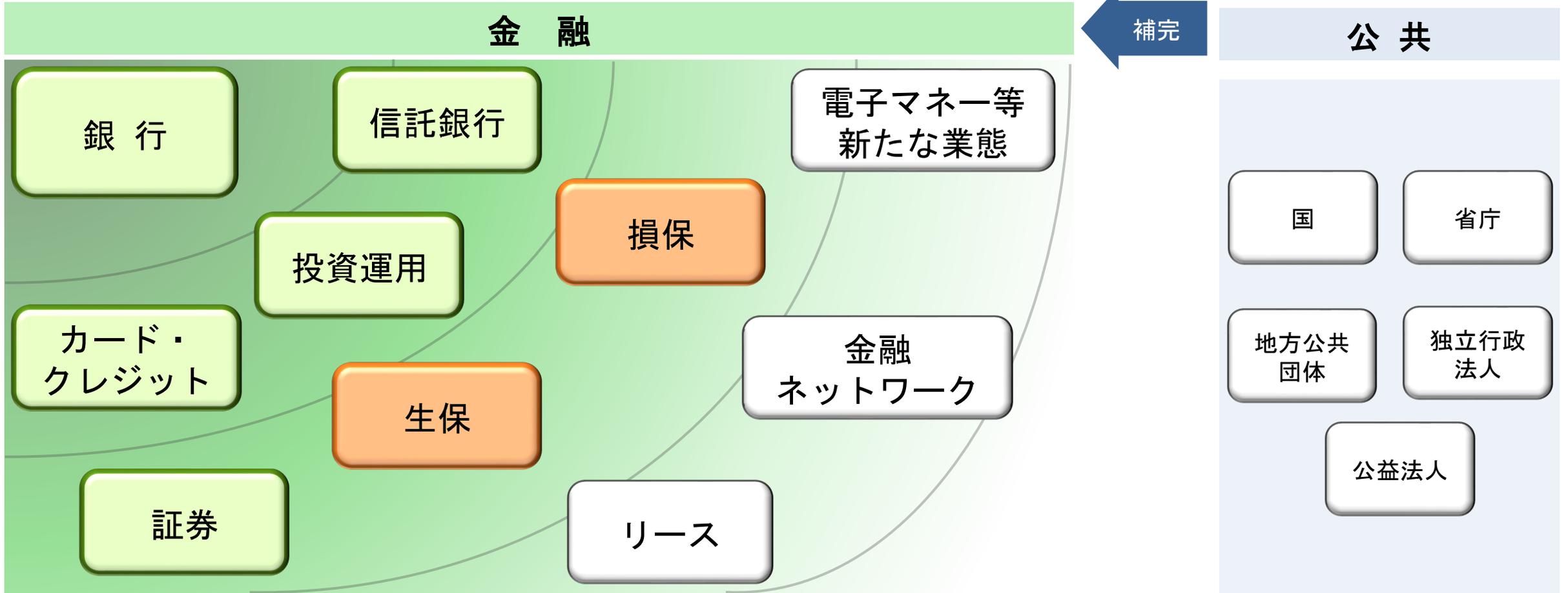
2. 事業の全体像とフェーズ

3. 主な取り組み

(ご参考) 導入例紹介

3-1 コンサルティングの領域拡大

□ 新たに保険業界にもコンサルティングサービスを提供



3-2(1) レジ無し店舗の開発

レジ無しスルー型「スーパーワンダーレジ」⇒TOUCH TO GO「TTG-SENSE」

- レジ作業を必要としない完全スルー型システム。
- 利用者は、商品を手にとるだけで精算することが可能
- JR東日本とのオープンイノベーションで素早く社会実装

高輪ゲートウェイ駅構内 TOUCH TO GO



世界の競合との差別化ポイント

- 誰でも使える(会員登録不要)
- お客様に合わせた決済手段
- 優れたコストパフォーマンス



多様な小売業態へ適用可能

3-2(2) 株式会社TOUCH TO GO

- 2019年7月にJR東日本スタートアップ株式会社と設立
- 業容の拡大をねらい各社と協業を強化

TTGと協業各社との関係

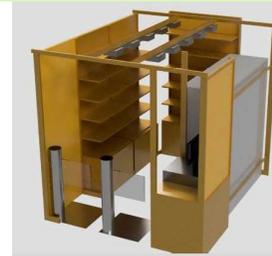


TTGの主要製品

コンビニ型
無人決済システム
「TTG-SENSE」



極小店舗向け
無人決済店舗システム
「TTG-SENSE MICRO」



無人オーダー決済システム
「TTG-MONSTAR」

ゲート制御型入退館システム
「TTG-GATEWAY」

3-3(1) AI搭載セルフレジ「ワンダーレジ」

期待効果

- レジに関する業務を軽減することにより、店舗運営の効率化と人手不足の解消に貢献
- 商品を置くだけでAIが商品を認識、お客様はセルフで簡単にお買い物＆最先端技術を体験



 WONDER REGISTER

特徴

- 筐体は再生利用可能な素材を使用
- 画像認識技術を使用しており、商品を見ただけで認識するためバーコードの付いていない野菜や果物もセルフで購入可能(バーコードの読み取りも可能)
- 商品を置く&画面タッチのみで簡単にセルフでお買い物
- 最先端のレジ導入によりお客さまに新たなお買い物体験を提供
- お客さまに応じたオリジナルデザインを筐体に印刷

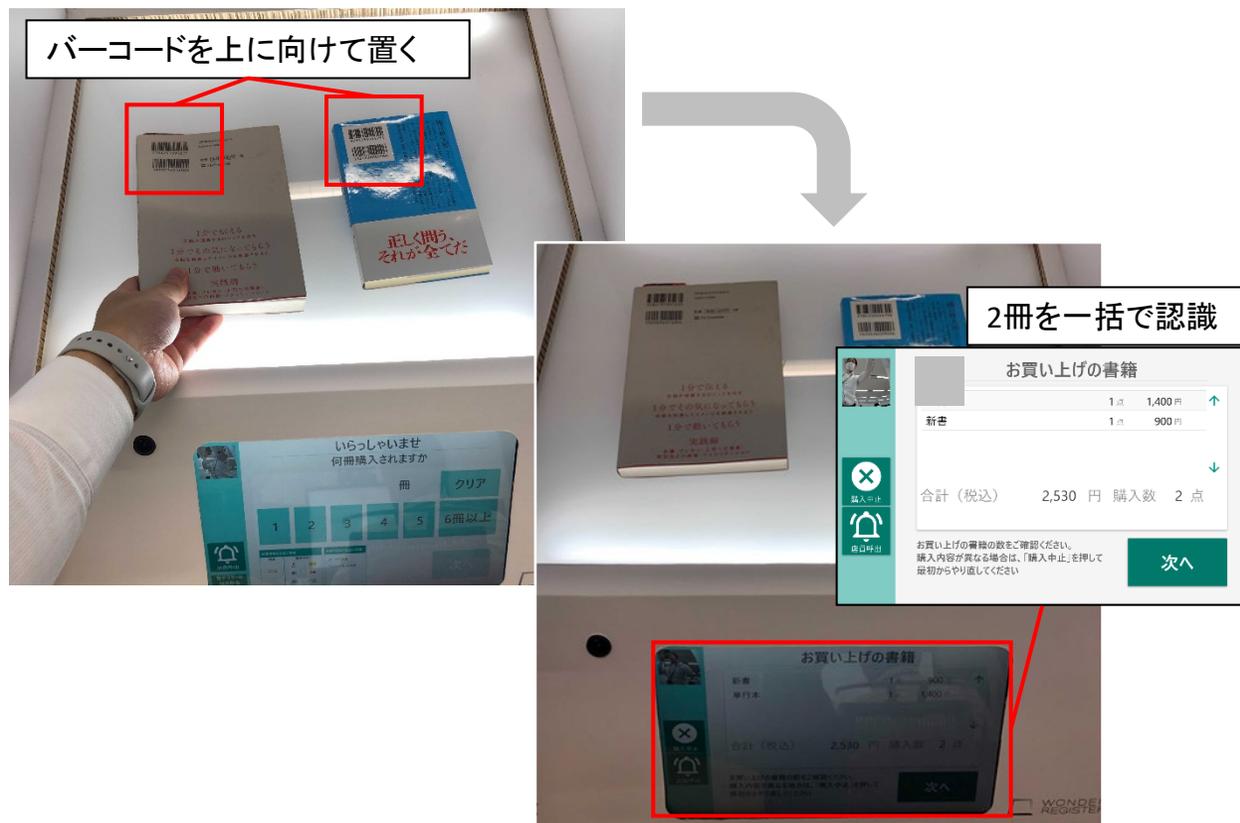
活用例

- 職域売店
- スポーツスタジアム
- シェアオフィス内売店
- 野菜直売所 等

3-3(2) 書籍専用セルフレジ「ワンダーレジ-BOOK」

期待効果

- レジに関する業務を軽減することにより、店舗運営の効率化と人手不足の解消に貢献
- 書店を利用するお客様にとって使いやすい書籍販売に必要な機能を強化した設計



特徴

- 本のバーコードを上に向けて置くだけで、一括で全ての本のバーコードを読み取り
- 1冊ずつバーコードを読み込む必要がないので、より簡単にスピーディーにお会計
- 商品を置く&画面タッチのみで簡単にセルフでお買い物
- 店員呼び出しやエラー通知などの店員通知機能が標準装備
- 最先端のレジ導入によりお客さまに新たなお買い物体験を提供
- お客さまに応じたオリジナルデザインを筐体に印刷

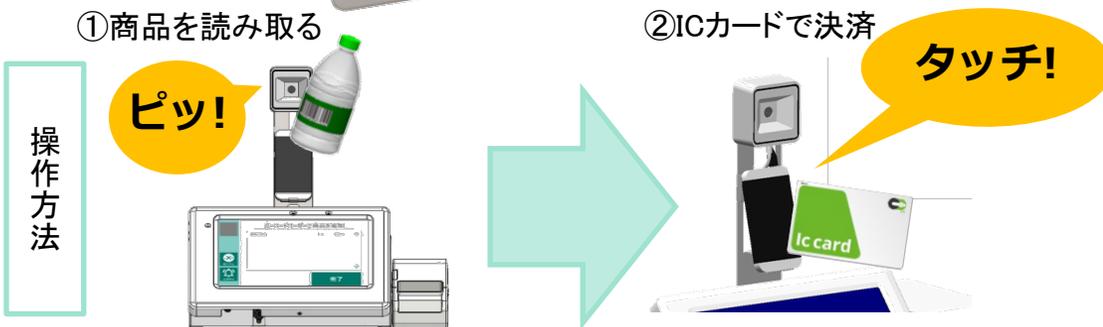
設置例

- 書店
- 駅売店 等

3-3(3) コンパクトPOSセルフレジ「EZレジ」

期待効果

- セルフレジの導入ハードルを大幅低減、これまで諦めていた店舗でもセルフレジの導入が可能
- 使いやすさと店員通知機能により、店舗の省人化を実現



特徴

- お客さまの声を基に利便性を損なわないシンプルな機能に絞り月額9,800円~という低価格を実現
- A3用紙サイズ以内の省スペース設計
- 店員呼び出しやエラー通知などの店員通知機能が標準装備
- 利用者が直感的に使える製品設計
- マスター管理機能付きオリジナルPOSシステムを実装

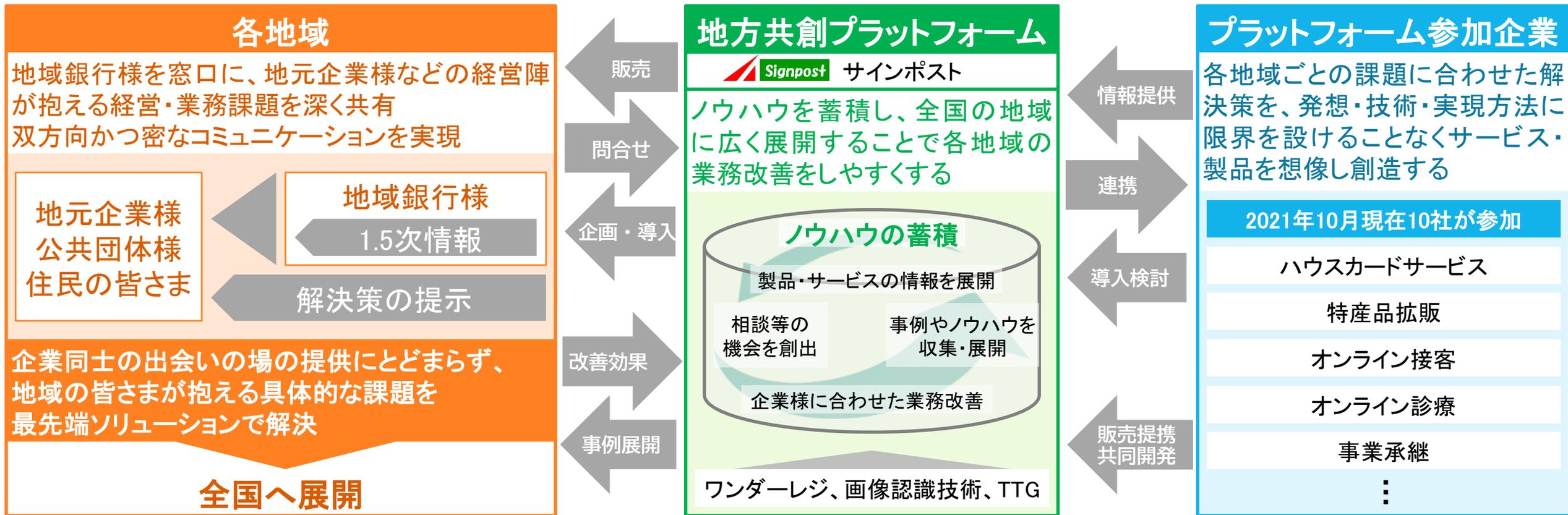
設置例

- コンビニエンスストア
- ドラッグストア
- 病院内・職域 売店
- ホームセンター
- 小規模店舗からチェーン小売店への導入が可能

3-4 地方共創の推進

□ 各地域の課題に合わせた解決策を提供するプラットフォームを構築

サインポストの「**全国地銀様とのネットワーク**」と「**事業会社とのネットワーク**」を活用した持続的な取り組み



3-5 独自技術の商品化とオープンイノベーション

□ 保有技術とオープンイノベーションで新しいソリューションの具現化をめざす

サインポストの技術



1. 人工知能「SPAI」

SignpostのAI、略して「SPAI」は産学連携で当社が独自に開発した人工知能です。

SPAIは、画像から様々な特徴を捉えて商品や人を認識。文字、数字などを認識し、識別ができないものは「わからない」とアウトプットします。

この技術を核に、生産性向上に寄与する様々な製品やソリューションを開発しています。



2. 画像認識

画像を認識し、自動で読み取り、学習することができます。



3. 追跡技術

人物の特徴を認識し、カメラを通して追跡することができます。



4. マルチ決済

現金、クレジットカード、電子マネー、プリペイドカードなど、幅広い決済方法を活用することができます。



5. 重量センサー

力や荷重を数値化し、見える化することができます。



6. バーコード一括認識

一度に複数のバーコードやQRコードの情報を読み取ることができます。



7. 文字認識

文字を認識し、自動で読み取り、学習することができます。

各社の強み



- ユーザー企業
- 流通チャネル
- テクノロジー

オープンイノベーションを通じて社会の発展に貢献

経営・業務課題の解決

社会問題の解決

地域共創の推進

3-5 実例1: 店舗可視化ソリューション

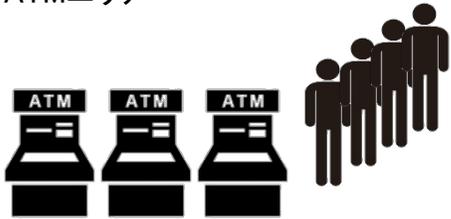
期待効果

- 取引の結果ログに表れない店舗の利用状況を可視化、店内設計・オペレーションを再構築
- リアルなニーズを反映した店舗戦略で顧客満足度を向上

◆銀行での導入事例

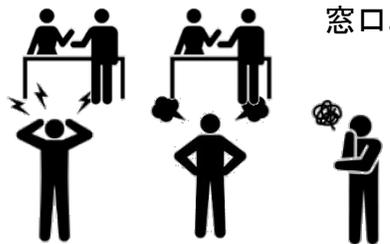


ATMエリア



エリア名	平均滞在時間	最大滞在時間
ATM	1分17秒	12分43秒
通帳記入/通帳繰越	1分18秒	4分28秒
両替機	1分13秒	4分47秒
ATM待機列	0分26秒	1分15秒

窓口エリア



エリア名	平均滞在時間	最大滞在時間
記帳台	1分34秒	12分6秒
待合ロビーチェア	2分24秒	11分32秒

特徴

- 入退店者数や滞在時間、各機能の利用者数等のデータを可視化
- カメラで取得した店舗内の動画をAIが解析、店舗内のお客さま・従業員の動線や滞在時間を店内の各エリアごとに算出
- 可視化したデータに基づいた利用予測により、店内設計、オペレーションを再構築

活用例

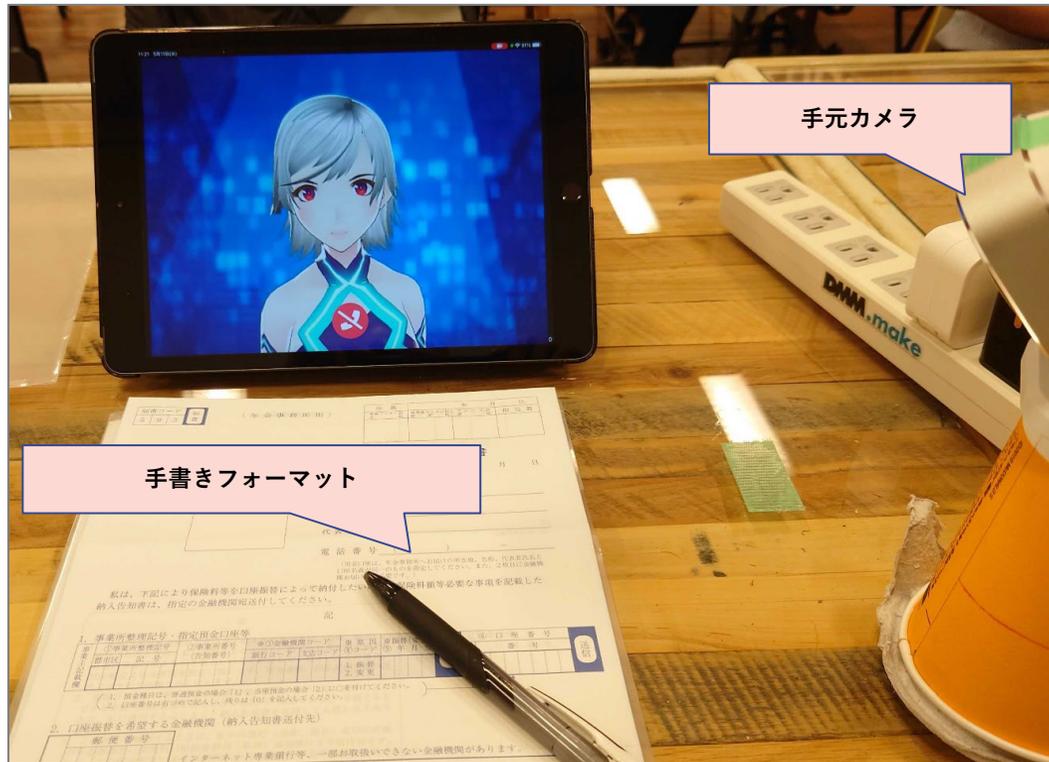
- 銀行
 - ・各支店の入店者数、ATMや待合ロビーの混雑状況を可視化
 - ・お客さまのニーズに合った店舗戦略に活用
- その他市役所、図書館などの公共機関、病院など

3-5 実例2: アバターリモート接客システム

期待効果

- コールセンターやテレワークでのリモート接客により、**窓口業務の省人化を実現**
- カメラによりお客様の表情や手元の状況を把握、**リアル接客のサービスレベルを維持**

▼お客様画面＋手元カメラ



特徴

- アバターを活用した遠隔接客システム
アバターは完全カスタマイズが可能
- 裸眼VRコンテンツへの対応可能
ホログラムでのアバター投影による新たな顧客体験を提供
- お客様の手元を映すカメラ
申込用紙やアンケート等、お客様のお困りポイントを把握可能

活用例

- スーパーや家電量販店等大型モニターでのカード入会作業等
- 銀行や携帯電話ショップ、地方自治体等の窓口業務
- 百貨店やその他小売店のインフォメーション窓口

1. 理念・使命

2. 事業の全体像とフェーズ

3. 主な取り組み

(ご参考) 導入例紹介

TOUCH TO GO 導入例

高輪ゲートウェイ TOUCH TO GO



外観



内観



決済ゲート

ファミマ!!サピアタワー/S店

外観



内観



決済ゲート



ANA FESTA GO 羽田B1フロア店

外観



内観



入口

買い物の様子

決済ゲート

出口

トモニー中井駅店



ファミリーマート岩槻駅店



千葉新港(三菱商事エネルギー・タツノ)

外観



内観



ワンダーレジ 導入例

株式会社JCB 高田馬場オフィス カフェテリア



ワンダーレジ



ドリンク類売場



メイン売場(お菓子、カップ麺、雑貨)

ナンモダ百貨新冠本店



オリジナルデザインをプリントしたワンダーレジ



昭和電工ドーム内 トリズキッチン西 (大分トリニータ ホームスタジアム)



店舗全体



ワンダーレジ(弁当、ドリンクを販売)

横浜高島屋 Foodies' Port2



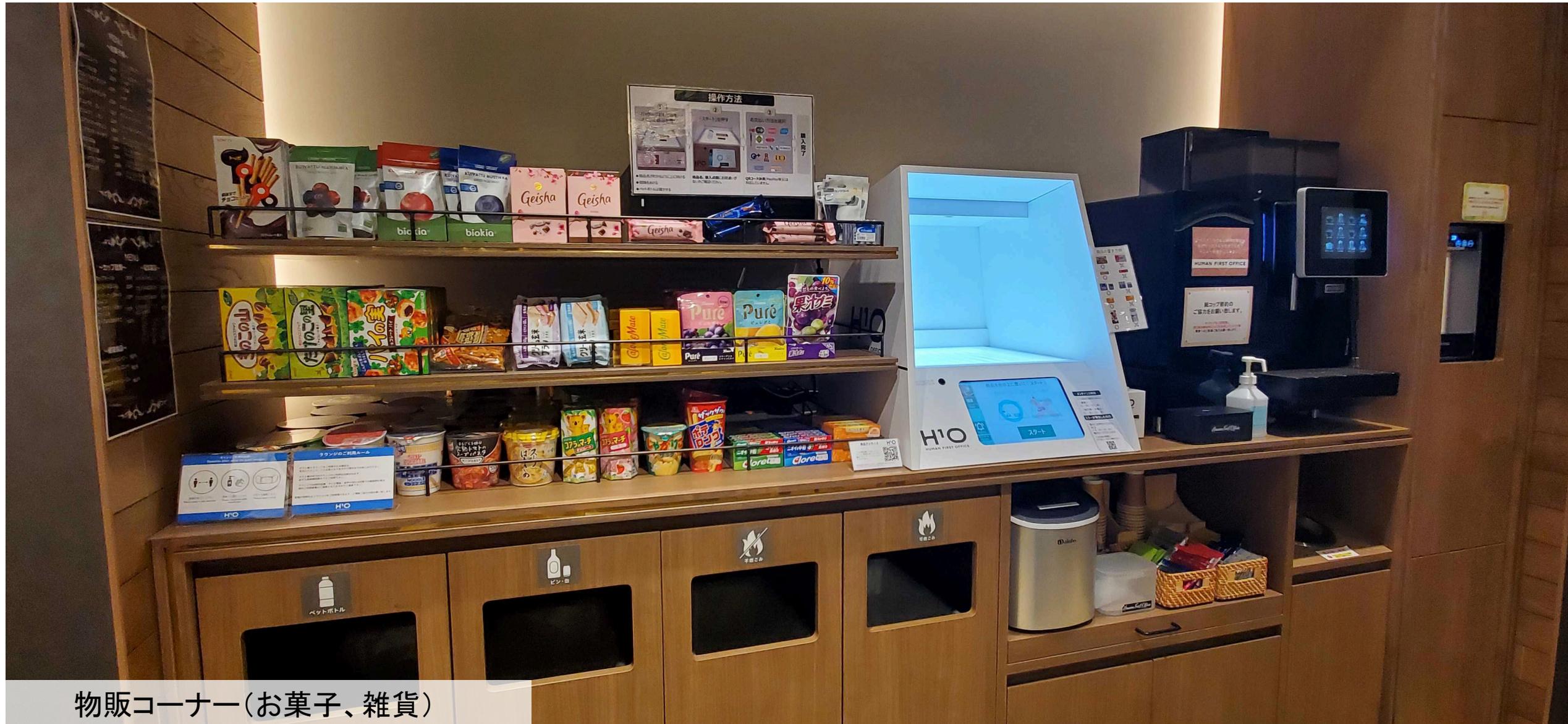
ベーカリースクエア(パン、お菓子等)



ハマプラ(パン、お弁当、ドリンク等)



H¹O 日本橋室町



物販コーナー(お菓子、雑貨)

EZレジ 導入例

ゲットライフ (ホンダテクニカルカレッジ関西)



ロボットマート



本資料の取扱いについて

本資料における当社の今後の計画、見通し、戦略等の将来予想に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績等は、金融市場の動向、経済の状況、競合の状況の他、様々な要因によって見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。

当社は、これらの情報を最新のものに随時更新するという義務や方針も有しておりません。また本資料を利用した結果生じたいかなる損害についても、一切責任を負いません。

私たちは、お客さまの経営・業務課題の解決に、お客さまの一員として道しるべを示し、発想・技術・実現方法に限界を設けることなく、サービス・製品を想像し創造することで、世の中を変え、時代を切り拓きます。

そして、私たちの取り組みにより、お客さまをはじめ社会の人々の笑顔を増やし、社会発展に貢献します。

